

# 地区の骨格となる検討路線に関するアンケート調査結果のご報告

平素より、防災街づくりにご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本区では、「安全で安心して住み続けられる災害に強いまち」を目指し、尾久東部地区において新たなまちづくり計画を検討しています。

この計画では、災害時に必要となる安全な避難経路の確保と日常生活の利便性の向上を図ることを目的に、これら路線を幅6mの主要生活道路として整備することを検討しています。

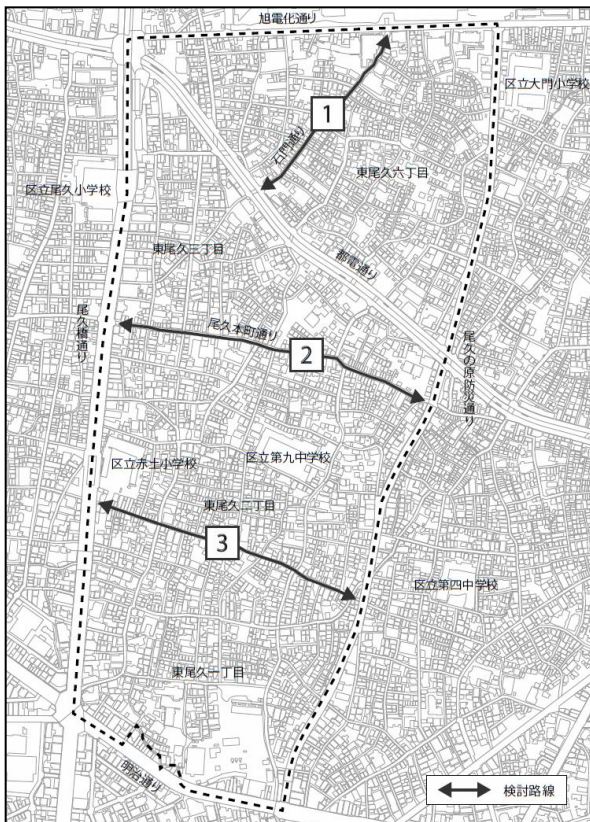
この検討の参考とするために、昨年12月、検討路線沿道の建物にお住まいの方及び土地や建物を所有している方を対象にアンケート調査を実施いたしました。

年末のお忙しい時期にかかわらず、多くの皆様にご協力いただき、ありがとうございました。この度アンケート結果がまとまりましたのでご報告いたします。

## ▼アンケート調査の概要▼

- ・調査対象者：検討路線1、3の沿道及び検討路線2の沿道で前面道路幅員が6m未満の建物にお住まいまたは土地や建物を所有している方
  - ・調査時期：令和元年12月
  - ・調査内容：主要生活道路、建物位置の制限に関するご意見、ご要望
  - ・調査方法：沿道にお住まいの方に対面によるヒアリング  
不在時にはアンケート用紙をポストに投函  
地区外権利者には別途アンケート用紙郵送
- |        |           |   |          |             |
|--------|-----------|---|----------|-------------|
| ○検討路線1 | 対象数： 77件  | ⇒ | 回答数： 27件 | (回答率 35.1%) |
| ○検討路線2 | 対象数： 2件   | ⇒ | 回答数： 1件  | (回答率 50.0%) |
| ○検討路線3 | 対象数： 156件 | ⇒ | 回答数： 52件 | (回答率 33.3%) |

## ▼地区の骨格となる検討3路線▼



検討路線 **1**：石門通り

⇒地区北側に位置する広域避難場所（尾久の原公園）と都電通りをつなぐ避難強化を図る路線

検討路線 **2**：尾久本町通り

⇒尾久橋通りと尾久の原防災通りをつなぐ、地区の中心を通り東西のネットワークを強化する路線

検討路線 **3**：赤土小学校南側の通り

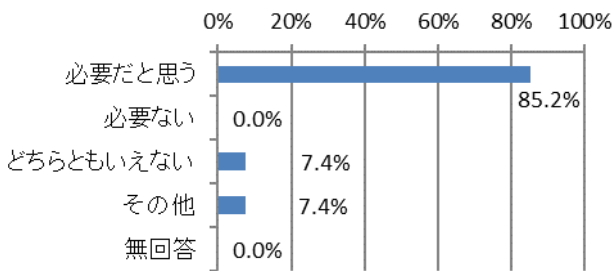
⇒尾久橋通りと尾久の原防災通りをつなぐ、検討路線

**2**と明治通りの間に位置する東西のネットワークを強化する路線

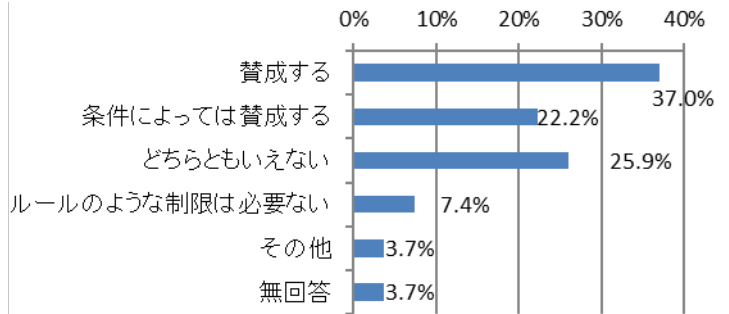
なお、地区の骨格となる3つの検討路線は、荒川区都市計画マスタープラン、東京都防災都市づくり推進計画においてそれぞれ主要生活道路、防災生活道路として位置付けられています。

## アンケート結果：検討路線1

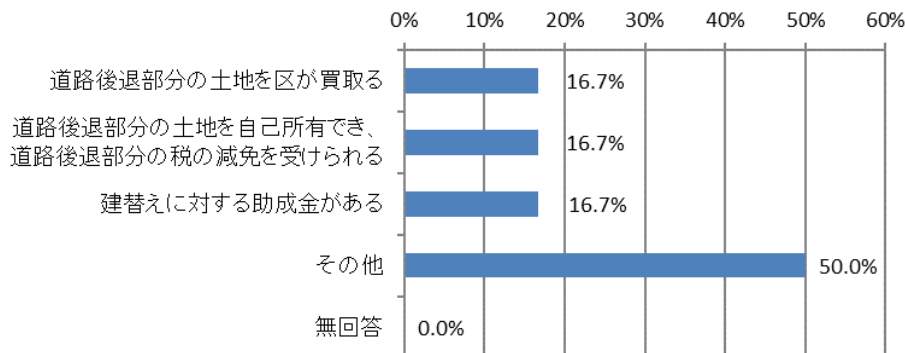
【問1】地区内に主要生活道路（幅員6mの道路）が必要だと思われませんか。



【問2】建物位置の制限を行うことについて、どのようにお考えですか。



【問3】賛成にあたっての条件についてお答えください。

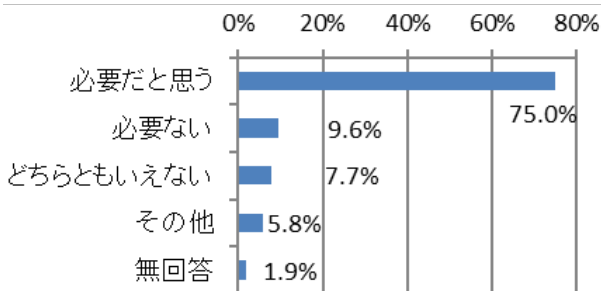


【その他】

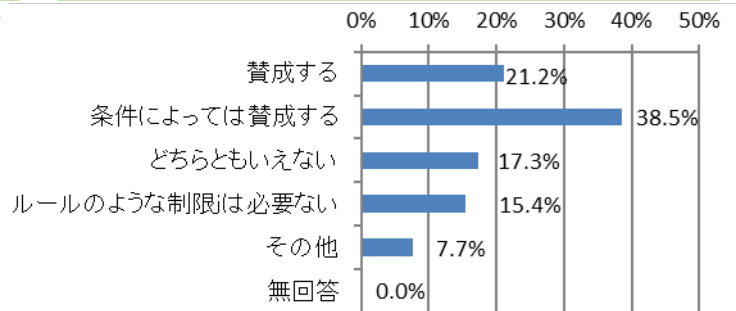
- 道路工事をやっている際、商売ができなくなるのではないかと
- 自転車が道路に出ているため、拡幅して欲しい
- 自転車や材料が道路に出ている

## アンケート結果：検討路線3

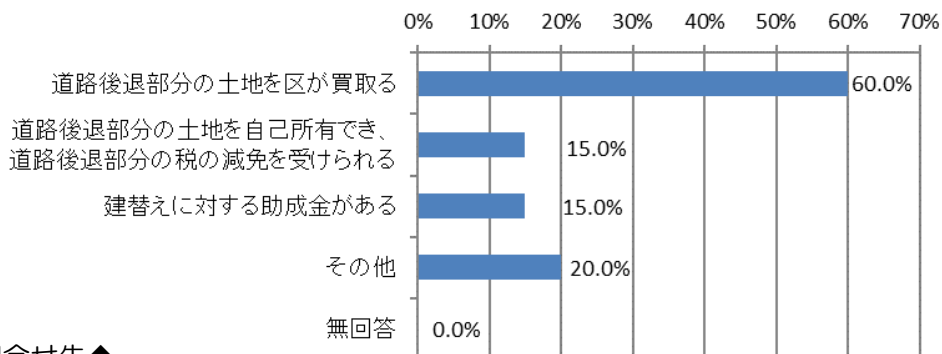
【問1】地区内に主要生活道路（幅員6mの道路）が必要だと思われませんか。



【問2】建物位置の制限を行うことについて、どのようにお考えですか。



【問3】賛成にあたっての条件についてお答えください。



【その他】

- 左右が公平に拡幅するのであれば
- 安全面とセットであれば（一方通行で道路幅員6m）
- 今時点ではわからないが条件付きが良い

◆お問合せ先◆

荒川区 防災都市づくり部 防災街づくり推進課 防災街づくり係

〒116-8501 荒川区荒川2-2-3(北庁舎2F)

なばため

担当：青木、伊藤 電話：03-3802-3111（代表） 内線 2828